



はじめに 001

CEOメッセージ 002

日産のCSR 006

地球環境の保全 023

安全への配慮 060

ステークホルダーへの価値の向上 074

お客さまのために 075

株主・投資家の皆さまとともに 083

社員とともに 086

ビジネスパートナーとともに 096

社会とともに 102

コーポレートガバナンス 111

社員一人ひとりが考える
サステナビリティ 121

事業概況 125

第三者意見書 129

株主・投資家の皆さまとともに

迅速で正確な情報開示を継続的に実践する

日産の株主・投資家向け広報(IR^{*})活動の基本は、透明性を高めた情報開示を継続的に実践することです。機関投資家のみならず、証券アナリスト、個人投資家の皆さまに、日産の戦略やビジョン、経営計画に対する具体的な実行方法を正確に伝えることにより、株式市場からの信頼を築き、企業の本質的価値と市場価値の一致を目指しています。また、企業価値を長期的に創造していくためには株式市場からのフィードバックが欠かせません。私たちはすべての株主・投資家の皆さまが的確な投資判断をしていただけるよう、双方向の良好なコミュニケーションを継続していきたいと考えています。

※IR：インベスター・リレーションズの略。株主・投資家向け広報

透明性を確保した情報開示で、信頼されるIR活動をグローバルに推進

日産はグローバルなIR活動において、一貫して迅速で透明性のある情報開示に努めています。決算報告においては、四半期ごとに世界各地の機関投資家への個別訪問や各種メディアとの取材対応を行っているほか、証券会社主催のカンファレンスなどを通じて会社の状況を積極的にお伝えしています。また、株主・投資家の皆さまからの信頼をより強固なものとするため、投資家向けミーティングなどの場において、経営者層との直接対話の機会を増やすとともに、2007年9月からは最高財務責任者(CFO)を任命し、その厳格なコントロールのもと、これまで以上に透明性のある財務活動に取り組んでいます。

日産は、株主や投資家の皆さまが投資判断をされる際に有益となる情報を適時かつ公平に開示することにより、株式市場からの信頼と安定的な株主価値向上に役立つIR活動の充実に取り組んでいます。

日産の配当政策

2009年2月9日、収益の悪化に鑑みて、通期業績予想を下方修正するとともに2008年度末の配当金の支払いを提案しないことを発表しました。その結果、2008年度通期の配当金は一株あたり11円となります。



<http://www.nissan-global.com/JP/IR/>

IRに関する詳しい情報は、上記のウェブサイトに記載しています。あわせてご覧ください。

はじめに	001
CEOメッセージ	002
日産のCSR	006
地球環境の保全	023
安全への配慮	060
ステークホルダーへの価値の向上	074
お客さまのために	075
株主・投資家の皆さまとともに	083
社員とともに	086
ビジネスパートナーとともに	096
社会とともに	102
コーポレートガバナンス	111
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	121
事業概況	125
第三者意見書	129

配当政策については、世界的に競争力のある水準にすることが日産の戦略であり、株主の皆さまとの関係においても重要な鍵であると考えています。現時点では2009年度に配当金をお支払いする見通しは立っていませんが、フリーキャッシュフローをプラスにした後、状況に照らして復配を検討する方針です。

2,034名の株主の皆さまにご出席いただいた定時株主総会

2008年6月25日、日産自動車(株)は2,034名の株主の皆さまにご出席いただき「第109回定時株主総会」をパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)において開催しました。本総会では、2007年度の事業報告ならびに2008年度の業績見通しに関する説明を行いました。また会場内では、「日産のCSRへの取り組み」と題したパネル展やミニモーターショーなども開催。総会終了後は、株主の皆さまと経営者層との直接対話の場として株主懇談会を催し、オープンで活発な意見交換を行いました。

総会に先駆けて開催した「株主向け技術体験会」では、関東在住の株主の方を抽選で追浜事業所にご招待し、衝突実験や飲酒運転防止プログラムのデモなどを実施。株主の皆さまに日産の最新設備や先進技術を紹介し、長期投資にふさわしい企業であることを実感していただく機会となりました。

多様化する個人投資家の皆さまとのコミュニケーションを強化

日産の株式を保有されている個人株主は2008年度末時点で31万7,000人を数え、事業活動の重要なパートナーである個人投資家の皆さまとのコミュニケーションの強化・充実は、日産のIR活動において大きな柱のひとつに位置づけられています。IRイベントでは、証券各社との共催による投資セミナー、自社主催による個人投資家説明会を通じて日産の成長戦略を紹介しています。2008年度には「日産GT 2012」の概要や「電動化技術」に関する事業説明会を実施し、前年度を上回る300名以上の方にご参加いただきました。事業活動を具体的にご理解いただける機会としては、個人投資家の方々を招いての工場見学会も継続的に実施しています。

また、個人株主の皆さまを対象としたウェブサイト「個人投資家の皆様へ」を開設するとともに、メール配信サービス「NISSAN IR NEWS」により、これまで以上に迅速な情報提供に努め、日産に関するあらゆる情報のアクセス機会を広げています。2009年1月に実施したNISSAN IR NEWS登録者対象アンケートでは、登録者の約3割の方から回答を頂き、多数のご意見を伺うことができました。



株主の皆さまとの懇談会



個人投資家向け説明会



<http://www.nissan-global.com/JP/IR/INDIVIDUAL/index.html>

個人投資家の皆さまにさまざまな情報をご案内するウェブサイトもあります。あわせてご覧ください。



<https://www.nissan-register.jp/irregister/>

個人投資家向けメール配信サービス「NISSAN IR NEWS」では、日産のニュース・情報をメールでタイムリーに配信しています。

はじめに	001
CEOメッセージ	002
日産のCSR	006
地球環境の保全	023
安全への配慮	060
ステークホルダーへの価値の向上	074
お客さまのために	075
株主・投資家の皆さまとともに	083
社員とともに	086
ビジネスパートナーとともに	096
社会とともに	102
コーポレートガバナンス	111
社員一人ひとりが考える サステナビリティ	121
事業概況	125
第三者意見書	129

： 証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定で2年連続1位を獲得

日産自動車(株)は、(社)日本証券アナリスト協会主催の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、自動車・同部品・タイヤ部門の優良企業1位に2年連続で選定されました。「ディスクロージャー優良企業選定」は、企業の情報開示向上を目的に、証券アナリストがアンケート形式で対象企業のIR活動を事業年度ごとに評価するもので、14回目を迎えた2008年度は37名のアナリストが同部門の評価に参加。日産は、フェア・ディスクロージャーへの取り組み、コーポレート・ガバナンスや事業活動に関する自主的な情報開示が評価されました。



2年連続で「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業」に選定

2009年1月実施
個人投資家向けメール配信
「NISSAN IR NEWS」アンケート結果

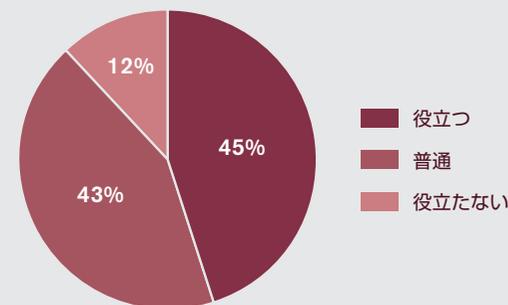
日産は、個人投資家の方々に決算発表情報や日産IRサイトの新着情報などをメールでお届けする「NISSAN IR NEWS」配信サービスを2008年4月に開始しました。同サービスおよびIR活動全体の向上を目的として実施したアンケートの結果を、一部抜粋して紹介します。

「NISSAN IR NEWSが投資に役立つか」との質問に対して、「役に立つ」(45%)、「普通」(43%)、「役に立たない」(12%)という回答を頂きました。とくに「ホームページに掲載されている以外の情報が欲しい」「将来の事業計画についてもっと詳しく知りたい」などのご意見が寄せられ、「NISSAN IR NEWS」独自の、もう一步踏み込んだ情報提供を求められていることが分かりました。

また、「充実させた方が良いIR活動」として、「NISSAN IR NEWS(メール配信)」(26%)、「施設見学会」(26%)、「ホームページ」(24%)が多く挙げられました。

これらのアンケート結果を踏まえ、今後は各事業所で実施されるイベント案内、日産に関するテレビ番組(特集)の事前告知などの情報を追加し、これまで以上に配信内容の充実を図る予定です。

： NISSAN IR NEWSが投資に役立つか



： 充実させた方が良いIR活動

